

# 組合だより

232号

2019年

4月25日

発行所 岡山大学職員組合

〒700-8530 岡山市北区津島中2-1-1

電話 086-252-1111 (代)

7168 (内線)

直通 TEL&FAX 086-252-4148

ホームページ <http://hb4.seikyoku.ne.jp/home/ODUnion/>

メールアドレス [ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp](mailto:ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp)

目次： 1: 委員長あいさつ 2: 組合の成果 3~5: 各単組からの呼びかけ 6: 声明 7: 単組だより 8: 旅日記

岡山大学職員の生活と権利を守るために いっしょに組合やりませんか！

## あなたも 岡山大学職員組合に



### ようこそ岡山大学へ

執行委員長 稲垣 賢二

桜の花とともに新年度が始まりました。新たに岡山大学に就職された皆さん、おめでとうございます。心から皆さんを歓迎致します。私たちは皆さんと力を合わせて岡山大学をよりよくしていきたいと思っています。皆さん、一緒に岡山大学の教育・研究条件をよくし、働く環境を改善していきましょう。そのために教職員が自主的に作っている組織が、岡山大学職員組合です。それでは職員組合の組織と活動を紹介します。



岡山大学職員組合には現在ほとんどの学部には属する数百人の組合員がおり、大学側が無視できない組織規模を有しています。全国的に見ても5本指に入る規模です。立場の弱い労働者が交渉をして成果を勝ち取っていくためには、この組織規模を保つことが重要です。

岡山大学職員組合は各学部の単位組合の連合体です。現在、法文経、教育、工、理、農、医、附属学校園の7単組があり、単組に加入することで自動的に全学の岡山大学職員組合に加入することになります（単組がない場合は連合体に直接加入します）。このような構造になっていることで、組合活動は各学部等の状況・要求にも、全学的な状況・要求にも対応することができます。こうして組合活動が多様で身近であるため、一定の組合員数を維持できていると思います。

### 大学改革に構成員の声を！

大学が法人化されてから、権限が大学執行部に集中してきました。学長のリーダーシップやトッ

プダウンにより大学の方針が決定されるようになりました。しかし、岡山大学の運営にはボトムアップにより各構成員の意見や提案を吸い上げることも重要で、執行部もそのことを重視するという方針もっていると言われていています。しかし、このボトムアップは必ずしも有効に機能していないのではないのでしょうか。このような状況で、大学の執行部と直接交渉するのは、各単組が集まって作っている連合体である岡山大学職員組合です。岡山大学職員組合のホームページの過去の「組合だより」をご覧になれば、昨年度の活動やその成果を理解して頂けると思います。

岡山大学では「スーパーグローバル大学」に採択されるため、性急に行った大学改革の問題点が顕在化してきています。60分、4学期制は、その最たるものです。当局や組合が行ったアンケート調査でも評価する意見はほとんどありません。教育負担が増し、多忙化したのが、教育効果は上がっていないのが現状で、早急な改善が求められています。この4月から新年俸制が導入されますが、一層の改善や新規採用の教職員が月給制も選択できるようにすることも求めていきたいと考えています。部局を越えた提言ができるのは職員組合ならでの活動です。今後も岡山大学の教育・環境や教職員の権利・利益擁護のためにも活動を続けていきます。皆さんも組合への加入を是非検討して下さい。



### あなたも組合に！

岡山大学職員組合では、文化・レクリエーション・学習活動などの全学的なイベントも数多く開催しています。皆さんと楽しく組合活動を通じて交流できればと思います。いっしょに組合活動しましょう！

## 組合活動を通じて、以下のような成果を上げています！

- \* 銀婚式休暇 新設
- \* 非常勤職員の結婚休暇 実現
- \* 診療系教員に対する裁量労働制, 4/1 導入を見送らせる
- \* 有期雇用職員の5年超えを実現
- \* ハラスメント防止委員会の設置 実現
- \* 3年次編入「入試手当」の支給 実現
- \* 育児参加休暇 延長。
- \* 子の看護養育休暇：学校行事への出席等を含め、対象を小学校3年生に拡大。
- \* 臨時特例法による給与削減に対し、2012年度は全国トップレベルの減額幅圧縮、13年度は調整手当プラス2%を獲得。
- \* 夜間看護手当：1ヶ月に8回を超えて夜間看護した場合は1回につき2,000円を追加支給。
- \* グッドジョブセンターへの正規職員配置を要求 実現
- \* 年俸制導入、60分授業・4学期制導入の問題点を明らかにしました。



- ① 各学部の組合（単組）に加入することで、全学の「岡山大学職員組合（連合体）」に加入したことになります。
- ② 「組合費」は単組毎に異なります。連合体分は毎月各職級の80号俸の0.5%です。
- ③ 有期雇用職員の方も加入できます。
- ④ 組合の活動には、単組毎の活動と連合体の活動があります。連合体は、大学執行部との団体交渉、学習会、レクリエーション活動、コーラスサークル、「組合だより」の発行、全国の大学組合との連携等を行っています。

環境理工学部、薬学部、全学センター等の教職員、本部職員の方は、直接「連合体」に加入できます。学内便、メールにて連合体事務室(岡本)まで、ご連絡ください。  
[ODUnion@mb4.seikyuu.ne.jp](mailto:ODUnion@mb4.seikyuu.ne.jp)



組合費は単組ごとに異なり、連合体分に各単組分を加えた金額になります。連合体分は、職級別に定めており、毎月、各職級の80号俸×0.5%（100円未満切り捨て）になります。

	1級	2級	3級	4級	5級	6級
教育職員	1,400円	1,700円	2,000円	2,200円	2,700円	
一般職員	1,100円	1,400円	1,600円	1,800円	1,900円	2,000円
医療職員	1,100円	1,400円	1,600円	1,700円	1,900円	2,000円
看護職員	1,300円	1,400円	1,600円	1,700円	1,900円	2,100円

年俸制の教員は、教授：教育5級、准教授：教育4級、講師：教育3級、助教：教育2級、助手：教育1級の組合費と同額となります。なお、非常勤職員等は別途規定があります。

短時間勤務職員の方の組合費は、一律500円となっています。

この機会にぜひ組合加入をご検討ください。

(加入用紙は、最後のページにありますので、切り取りお使い下さい。)



## 各学部単組もあなたの加入をお待ちしています！

### 教育学部職員組合



教育学部職員組合では、委員長以下、書記長、会計、広報、レクリエーションを担当する執行委員6名（1年任期）を設け、組合員のみならず部局内の教職員が少しでも働きやすい労働環境を作るべく活動しています。組合には教員の他に、特任教員や有期事務職員の方も加入されています。

組合の活動としては、教職員同士の情報共有と、親睦を深め連携を強化することを目的に、福利厚生事業として主に懇親会をはじめ各種イベントを企画・実行する他、音楽や演劇鑑賞に補助金を出しております。過去には一泊研修旅行を行ったこともありましたが、業務が多忙になってきていることから今日では難しく、2018年度には半日遠足＝「大人の社会科見学」として瀬戸内海に浮かぶ豊島や、総社の酒蔵にも訪問しました。こうしたレクリエーション活動に加え、自分たちを取り巻く職場環境を改善すべく、現行の60分4学期制をめぐって部局内で意見交換会を開催したこともあります。これらの模様は、機関紙『マスカット』を通じて広報しているところです。

私たちの職場環境は、私たちが協力し合い、意識して守っていかねばなりません。組合では、学部執行部との団体交渉を通じて組合員の声を伝え、職場環境の改善に取り組んでいます。全学職員組合の質問状や要望書、団体交渉の結果を組合メンバーへ伝え、様々な労働環境に関わる問題に取り組んでいます。

しかしながら、こうした活動を展開するには、まずは自分たちの言いたいことが簡単に言いあえるような土壌を整えていくことが欠かせません。ネット環境ではなくリアルな場で人間関係が希薄化していく今日だからこそ、教職員同士のリアルな「つながり」の場を1つでも多く提供すべく、これからも努めていく所存です。皆さまが、一人でも多く組合へご参加くださり、労働環境の改善にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

(連絡先)

委員長 大竹 喜久

ohtake@okayama-u.ac.jp

書記長 飯田 洋介

y-iida@okayama-u.ac.jp

### 工学部職員組合



新入職されたみなさん、おめでとうございます。工学部単組の職員組合数は、学部の規模から比べると多くありませんが、職員のより良い待遇や職場環境をつくるために活動しています。独自の活動は年1回の総会ぐらいですが、日々、連合体のさまざまな行事や、他学部組合からお誘いのあった行事に参加することで、組合員間の新たなネットワークや色々と有益な情報を得ています。これを読んだ方は、「活動が少ないのでは？」という疑問もあるかと思いますが、家庭・職場環境が異なる工学部単組職員の負担を極力軽減し、誰でも無理なく活動を続けることができる身の丈にあった工夫だと考えています。ただ、組合員同士の絆は深く、日々の疑問や懸念に対し、気軽に（立ち）話や電子メールができる環境です。実際に、工学部内での立ち話からでた要求が認められたケースは数多くあります。

このような活動により、一人一人の力では解決できない問題を、学部内だけに留まらず、他学部との連携・結束（適宜、専門家に相談できる環境）により対処しています。今年度から工学部に入職されたみなさん、また未加入のみなさん（退会された方は是非もう一度）、組合活動を通して工学部の環境をより良くしていきませんか？少しの勇気と時間を頂ければ、きっとみなさんの抱えている悩み事の解決策や新しい未来をともに作りあげる場所となると思います。みなさんのご加入を心よりお待ちしております。

(連絡先)

委員長 上森 武 内線 8033

uemori@okayama-u.ac.jp

大西 孝 内線 8042

onishi@mech.okayama-u.ac.jp



### 理学部職員組合

理学部は5学科からなり約180人の教職員が所属しています。その中で、理学部職員組合の組合員数は25名ですから、決して大きな組織とは言えません。

職員組合ですから、労働環境や研究教育環境の改善に向けて取り組むのが活動方針のひとつではありますが、堅苦しいことだけに取り組んでいるわけではありません。組合員相互の親睦を深め、

意見交流の場を設けることにも力を入れていきます。組合活動を展開するためには、組合員が意見交換・情報交換をし、それを反映した労働条件・職場環境の改善に向けて取り組まねばなりません。例えば、夏のビアパーティーや冬の新年会などは理学部単組の恒例行事であり、組合員の皆さんが所属の垣根をこえて楽しくワイワイやりながら、互いの理解や親睦を深めています。それに年に数回、自然科学研究科棟屋上で天体観望会も企画しています。

もちろんそれだけではありません。理学部単組は全学の連合体執行部の運営にも関わってききました。連合体の執行委員会では、現在大学が抱えている様々な問題への対応について、議論が交わされています。理学部単組でもこれらの活動と連携を図りつつ、理学部として取り扱うべき問題があれば、理学部長との懇談会の開催を検討していきたいと考えています。現在の理学部での関心事のひとつは、異分野基礎科学研究所の施設建設に伴う研究環境及び生活環境の変化です。

組合がしつかりと機能することで、結局は大学の運営がきちんと行われ、より良い職場環境が得られることに繋がります。皆さんも、理学部職員組合に加入して交流を広げ、より良い職場作りを目指してみませんか。

## 法文経学部職員組合



gwarata@okayama-u.ac.jp

書記長 藤原 貴生 内線 7890

hanaya@cc.okayama-u.ac.jp

委員長 花谷 正 内線 7838

(連絡先)

法文経職員組合では、平成30年度においても、夏のピール大会、秋以降開催の文化教養講座を通して、組合員の皆様の親睦を深めるだけでなく、大学執行部からの様々な難題に組合員の力を合わせて対処してきました。特に、今年度は、3学部併せて6名の方が定年を迎えられるということ、そのうちの3名の先生に文化教養講座の講師をお願いしました。いずれも20~30名の方々の参加をいただき盛況裏に終えることができました。皆様ご存じのように、一昨年度から60分4学期制がスタートし、多くの教員が授業時間を従来より3分の4ほどに増やして教えています。一方で会議や雑務などの時間は圧縮されることはないので、一番多く時間と労力をさくべき研究活動を圧迫しています。また、5年間の任期付き雇用

## 農学部職員組合



nagahata@e.okayama-u.ac.jp

委員長 長畑 秀和

(連絡先)

農学部職員組合では「芋掘り会」の開催や労働環境に関するアンケートおよびアンケート結果に基づいた学部長との懇談会を実施しています。「芋掘り会」は山陽圏フナールド科学センター(FSセンター)の全面的な御協力の下、たくさんのお手をお喜びを味わっていただいております。農学部だけでなく、様々な部局から毎年多くの方々にご参加いただきご好評をいただいております。アンケートでは労働環境に関わる様々なご意見・ご要望を伺い、それらを踏まえて学部長と意見交換を行うことで、微力ではありますが労働環境の改善に努力を続けています。また、組合のメンバーやウェブページを活用して、組合員の皆様との迅速な情報共有に取り組んでいます。

農学部職員組合の活動にぜひご参加下さい。

(連絡先)

委員長 西田 英隆 内線 8341

hnishida@okayama-u.ac.jp

書記長 宗正 晋太郎 内線 8310

smunemasa@okayama-u.ac.jp



## 附属学校園職員組合

附属学校園の教職員は、岡山県との人事交流で、県内の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校から転勤してきています。そのため、組合員の権利の保障と待遇の改善に関する活動については、県や市の待遇と比較しながら交渉をしてきています。民主的な職場の確保について、教職員からのアンケートを基に、勤務時間に関わること、変形労働時間や休暇に関わること、賃金に関わることなどについて話し合い、職場の声を届け続けることで、少しずつ改善されてきています。今後も引き続き交渉し、ぜひ改善につなげていきたいと思っています。

また、組合のもう一つの大切な活動、附属学校園の職員の交流・親睦では、夏休み中を中心にレクリエーションを行ったり、『ODU ポロシャツ（またはマフラータオル）』の組合員への配付を行ったりしてきました。

これまでの先輩方の活動のおかげで今の職場があることに感謝しつつ、今年度も活動をつなげたいと考えています。是非、組合への参加、および、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



## 医学部職員組合

新しく入職されたみなさん、おめでとうございます。今年就職した方々、新たな職場に就いた方々、夢と希望を抱きながら多忙な毎日をお過ごしではと思います。岡山大学の中でも鹿田地区は教育、研究及び医療という大きな3本柱から成っている職場で、さまざまな職種と幅広い年代の教職員が働いています。そのような中にいると同じ教職員とはいえ、各職場により、考えること、話すこと、話してみたいこともさまざまです。

医学部職員組合は、さまざまな職場の組合員から成りたっており、職場の垣根を超えて、情報を発信したり、拠りどころとなったりします。より良い職場をつくろうと、みなさんとともに活動しています。また、組合に入ると“ろうきん”や“教職員共済”の各種保険など生活を守り支援する特典がお得に利用できます。すぐ身近にある職員組合を大いに利用してください。下記の通り、書記さんがいますので、何でも聞きにお越しください。お待ちしております。

組合事務所は、中央診療棟3階北側通路東寄りにあり、黄色い看板が目印です。

(連絡先)

鹿田 内線 7632 (月～水曜 11:30～15:30)

shikataunion@gmail.com



あなたも組合の仲間になりませんか？



教員の方も、事務職員の方も、技術職員の方も、パートの方も組合に入ることができます

お申し込みは、各単組役員、もしくは組合事務所まで。メールからもお申し込みできます。

岡山大学職員組合

ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp

教職員の給与・労働条件は、労使交渉で決まります！

一人でも多くの皆様が加入していただくことで、労使交渉における組合の発言力は大きくなり、よりよい労働条件を実現していくことができます。

主な活動：団体交渉、学長懇談会研究科長・各部長・病院長と交渉、講演会、学習会の開催  
レクリエーション活動、コーラスサークルなど

### 組合合唱団と一緒に歌いませんか？

こんにちは！職員組合合唱団です。合唱団では月に3回、金曜日の夕方6時から北公民館で練習をしています。レパートリーは世界や日本の名歌から心にシーンとくる懐かしい歌まで、様々な曲で合唱を楽しんでいます。一度、覗いてみてください。お待ちしております。

お問い合わせは、組合(内7168)まで

## 吉備文化研究施設（通称「藤井高尚旧邸」）の譲渡 （売却）についての声明を発表しました



写真提供：鯉山学区連合町内会

岡山大学の吉備文化研究施設とは岡山市北区吉備津にある建物です。吉備津神社の少し西側に位置しています。2019年1月の役員会においてその譲渡（売却）が審議され承認されたようです。この会議の議事録および資料は学内からウェブページで見ることができます。その役員会議の資料によると、この建物は1728年に建築され、本居宣長の門人である藤井高尚が自身の門人を教えるための家塾として使用していたものだそうです。1954年に建物保存の目的で当時の所有者から岡山大学に寄贈されたものだということです。岡山大学では職員の研修センターとして利用してきましたが、2012年に常駐の管理人が高齢のため辞職した後、施設の利用がない状態が続いており、また、建物自体倒壊の危険があるということで今回売却することを決定したようです。

本来建物保存の目的で岡山大学に寄贈されたものですから、岡山大学としては建物を保存するべく努力をすべきところだと思います。それが貴重な文化財を寄贈された国立大学としての責務ではないかと考えます。しかしながら、昨今の運営費交付金の削減は大学の教育研究を脅かしており、寄贈された建物の保存が行えないというのが実態であり、甚だ残念ではありますが譲渡（売却）するという事は致し方ないと受け止めています。しかし、役員会の資料にはでておりませんが、大学側から関連部局に譲渡（売却）の際、現状のままの譲渡（売却）が無理な場合は施設を取り壊した上での売却もありうるとの説明がありました。そのことは山陽新聞やKBS放送でも報道されています。それに対し貴重な文化財を岡山大学自ら取り壊すことは避けていただきたいという趣旨で以下の声明を発表いたしました。

この問題は直接労働条件に関するものではありません。しかし岡山大学職員組合は、岡山大学が、われわれが誇りに思い、働きたいと思えるような大学であっていただきたいと考えて声明を発表いたしました。

2019年3月25日

岡山大学職員組合委員長 稲垣 賢二  
法文経職員組合委員長 長畑 秀和

吉備文化研究施設（通称「藤井高尚旧邸」）の譲渡（売却）について  
「取り壊し」ではなく施設を保存した状態での譲渡（売却）を強く要望します

現在岡山大学が所蔵している吉備文化研究施設の譲渡（売却）については岡山大学の12月各研究科会議において承認され、その後、1月に開催された教育研究評議会、経営協議会、役員会においても承認されたと報告されています。国からの基盤的経費の予算が年々削減されている中、維持費の負担を考えると、譲渡（売却）することは致し方ないものと受け止めています。

しかしながら、この間、山陽新聞の記事・KSB放送のテレビ・ニュースでも伝えられ、世間にも知られた、上記施設の取り壊しの可能性については、12月文学系会議における財務部長との質疑応答においても触れられたところであり、大いに懸念を抱いているところです。

本施設は元々、旧高松町の文化財指定をうけた備中国一宮吉備津神社宮司・国学者藤井高尚の旧邸です。昭和の自治体大合併の際、しかるべき手続きが取られなかったために現在表面的には文化財指定からはずれておりますが、現在でも旧高松町の文化財であることに変わりではなく、手続きが取られさえすれば、今現在でも岡山市の文化財であるはずの文化的価値のある施設です。

大学は本来文化財を守るべき立場にある機関であるということは、世間一般の通念と言ってもいいことであろうと思われまます。岡山大学が旧文化財を破壊する大学であるという事態になれば、岡山大学は、あるべき姿からはずれた悪い大学であるというイメージ、風評から逃れることはできません。それは岡山大学の存在意義自体を問われることにすらなりかねません。

この旧文化財を壊すことなく譲渡（売却）することをここに強く要望いたします。

## 単組だより 教育学部から

### — レクリエーションツアー 酒蔵を、訪ねる。 —

2019年2月16日(土)に教育学部職員組合と附属学校園単組合同開催で、総社市にある2つの酒蔵をめぐるツアーを行いました。本学教育学研究科出身の坂本清美さん案内によるツアーでは、伝統と革新が感じられる「三宅酒造」と「ヨイキゲン」の酒蔵見学、梅を見ながらの日本酒など、贅沢な時間となりました。その後田中智生先生のご紹介による「はまゆう」で、おいしいお魚と普段はお目にかかれない日本酒をたくさんいただきました。14名の参加でほのぼのとお酒を楽しむ一日となりました。



#### 【参加者の声】

津島先生に声をかけていただき、美味しいお酒に心惹かれ、夜の懇親会に参加させていただきました。どんな会かな〜とドキドキしましたが、とっても和やかで楽しく、お腹も心も満たされました。田中校長先生の名のもとに、普段お目にかかることのない美味しい日本酒を堪能！大学の先生方と気さくに語り、人との繋がりを感じ、未知の世界だった大学の先生方を身近に感じ、個性や仲睦まじさがまぶしく、附属1年目の私にとって刺激的な夜でした。(附属小学校 内田千恵先生)

実家にほど近い場所にありながら足を運んだことがなく、楽しみにしておりました「酒蔵探訪」。三宅酒造さんの、歴史を感じる酒造りの道具の数々。ヨイキゲンさんの、真新しい器械の並ぶ工房。対照的でとても面白く、勉強になりました。途中立ち寄った国分寺での梅見酒も、なかなか普段では味わえないような趣のある時間でした。素敵なイベントを企画していただき、ありがとうございました！旅の余韻に浸りつつ、お土産の甘酒をちびちび楽しみたいと思います。(福瀧朋子さん)

神は細部に宿る。  
日本酒は、計算し尽くしたうえで米を研ぎ、麴を作り、それらを適切に混ぜ合わせ、創られる。一瞬たりとも気の抜けないその工程には、指先の爪をほんの数ミリだけ磨きあげるような、繊細さと大胆さが求められる。そんな技藝を臍腑に染み入るように実感できた今回の酒蔵探訪だった。  
そんな探訪に彩りを添えたのが、移動中のバスでこたま飲んだ日本酒(これがまた絶品)、和気あいあいとしたメンバー同士の談笑、そして訪問先で購入した日本酒を持ち帰って自宅で早く飲みたいというワクワク感でした。どこの酒蔵でも丁寧なもてなしをいただき大変恐縮しつつも大満足。  
お米を分解してアルコールを生じさせる麴菌が、その自分が産出したアルコールで死んでしまうという悲劇／喜劇について教えてもらい、探訪の終わりには自宅でしみりとできる素晴らしい組合企画でした。(平田仁胤先生)



## ローカル線で行く！フーテン旅行記

### 第60回 急行列車が行き交った路線の今 因美線

工学部単組 大西孝

岡山から鳥取へ列車で行く場合は、特急「スーパーいなば」を使われる方がほとんどだと思います。20年ほど前には、津山を通過して鳥取へ向かう急行列車がありました。今では急行列車が廃止され、数えるほどしか普通列車の走らないローカル線、それが今回ご紹介する因美(いんび)線です。かつて急行列車が行き交った路線は、今どうなっているのでしょうか。

因美線は鳥取駅と東津山駅(津山より一つ鳥取寄りの駅、列車は東津山から姫新線に乗り入れ、津山まで運行されます)を結ぶ路線で、途中の智頭(ちず)で路線の性格が大きく変わります。かつては津山線と因美線を通る急行「砂丘」が1日に5往復、運行されていました。しかし、1995年に兵庫県の上郡(かみごおり)と智頭を結ぶ智頭急行が開通し、1997年に智頭急行を通る特急「いなば」(現在は「スーパーいなば」に改称)の運行が開始されると、急行「砂丘」は廃止されました。智頭急行を通ると距離はやや長くなりますが、因美線と比べてカーブが少なくスピードが出るので、岡山と鳥取の間の所要時間は30分も短縮されました。現在、因美線の智頭から鳥取の間は智頭急行から乗り入れてくる特急列車で賑わっていますが、一方の智頭と東津山の間は完全なローカル線となり、県境を超える普通列車はわずかに7往復です。ただし春と秋に、臨時列車の「みまさかスローライフ列車」が津山から智頭の間を走り、途中の駅では様々なイベントが開催され、ローカル線を気軽に楽しめる工夫もなされています。



智頭駅で鳥取方面の列車(右)から左端の1両だけのワンマンカーに乗り継ぐ。ここから津山までは列車の本数が激減します。



県境のトンネルを超えて岡山県へ。深い緑の中を細い線路が頼りなく続いています。津山行の列車の最後部から鳥取方面を望む。



暮れなずむ美作加茂駅に到着した津山行のワンマンカー。夕陽で車体が淡いピンクに染まりました。

鳥取から因美線の普通列車に乗ると、津山まで直通する列車はなく、途中の智頭駅で津山行に乗り換える必要があります。鳥取の近郊では、途中の郡家(こおげ)から若桜鉄道へ入る列車も含めて1時間に1本程度は列車があり、通学客などで賑わいます。途中には流しびなで有名な用瀬(もちがせ)などもあり、千代川(ちよがわ)が車窓に沿って流れ、典型的な日本のローカル線風景を楽しめます。

智頭で待っている津山行の普通列車は、1両のワンマンカーです。いつ乗っても乗客が少なく、数名のお客を乗せて、智頭急行の立派な高架橋と分けられると、細いレールを踏みしめて県境の坂道にかかります。山の中にある那岐(なぎ)駅を出ると、県境のトンネルをくぐり、岡山県側の美作河井(みまさかかわい)駅に到着します。かつては上下線で列車がすれ違った駅ですが、今では線路は1本だけになり、普通列車はすぐに発車します。この駅には、雪深い県境を越えてきた除雪車の向きを変えた転車台(ターンテーブル)があり、永らく土に埋もれていましたが、最近掘り出され、列車からもよく見えます。

峠を下って、人里に近づくと美作加茂(みまさかかも)駅です。美作加茂では今も普通列車のすれ違いが行われ、津山からここまでの列車も数本運転されています。ここからは田園風景の中を津山まで淡々と進んでいきますが、途中の美作滝尾(みまさかたきお)駅は、「男はつらいよ」の最終作(1995年、阪神大震災の被災地も登場)のロケ地となったことで有名な駅で、見逃せないスポットの一つです。

智頭より南では寂れてしまった因美線ですが、かつての山陰と山陽の往来を支えた時代に思いをはせるのもよいかもしれません。

法人職員の給与・労働条件は、労使交渉で決まります！1人でも多くの皆様が加入していただくことで、労使交渉における組合側の発言力は大きくなり、よりよい労働条件を実現していくことができます。

#### きりとり

岡山大学職員組合加入申込書 (組合事務所宛に提出してください)

岡山大学職員組合に加入します。同時に組合費の口座引き落としに同意します。



氏名: \_\_\_\_\_

所属: \_\_\_\_\_

連絡先(内線・Eメールなど) \_\_\_\_\_

性別: 男・女 \_\_\_\_\_